

平成28年度

運営に関する計画

大阪市立堀川小学校

大阪市立堀川小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○年間指導計画をもとに授業づくりを行ったが、6学年を見通した系統的な付けたい力はまだ明確になっていない。また、財産となった資料や学習指導材も次に生かすために整理と保管が必要である。さらに、児童の読書量には個人差がある。

以上のような現状と課題を解決するためにも、継続して研究活動を深めていく必要がある。

○あいさつについては、“誰に対しても”、“場に応じた”ものにはなっていない現状である。また、配慮を要する児童の増加による人的配置も必要であるが、難しい状況もあり、サポート体制を工夫するなど個に応じた指導の必要がある。

○工事に伴う運動場の使用制限によって児童の体力の低下が懸念される。また、年間を通して安全でけがの少ない生活を送れるようにしなければならない。

○幼小連携は、打ち合わせを大切にしたが、反省を次に生かせるようさらなる時間の確保も必要である。また、マーチングについても狭い運動場のなかでも地域や保護者の期待に応えるよう、児童に充実感を与えられるようにしていかなければならない。

中期目標**【学力の向上】**

○国語科を中心とした言語活動の充実を図り、指導方法の工夫・改善を行うとともに、児童の言語力や思考力・判断力・表現力の育成を図る。無答をなくし、全国学力・学習状況調査の国語科問題Bの全ての設問に対して全国平均を上回るようにする。

○児童の読書環境の充実に向け、学校図書館の活性化を図る。家庭読書を啓発したり、図書館ボランティアを活用したりすることにより、読書好きの児童を増やすため、事前に「読書好き」「読書量」等の調査を実施し、その割合を確実に増やす。

○授業研究会を計画的に実施し、授業力を高める。『質の高い言語活動』を通して、学習の目標を達成していく。

【道徳心・社会性の育成】

○児童相互の人間形成をつくるため、児童の状況に応じた多様な支援に取り組む。児童一人一人が場に応じたあいさつができるようにする。実態調査を適宜実施し、評価を明確にする。

○不登校児童など配慮を要する児童に対する研修に校内外で参加し、組織立てた取り組みを計画的に実施していく。

○仲間づくりの場を大切にし、学級活動や児童集会活動（たてわり活動を含む）等を充実させる。そのため、児童の意識調査を適宜実施する。

○対象者が増える特別支援教育を充実させ、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を保護者と共に作成していく。個別の指導計画に基づいた指導を充実させ、生活の自立に対して保護者と共に評価できるようにする。

【健康・体力の保持増進】

○児童数の増加、狭い運動場にも対応できる体育科授業と体育的な行事を通して、体力調査で全国平均を下回る種目について、全学年で向上させる。

○けがの予防に努め、前年度の実績を元にけが発生率を抑える。

○健康に関する取り組みや指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、「早寝、早起き、朝ごはん」等の実践力を高める。

【本校の特色と課題の克服】

○保護者や地域住民をはじめとする学校関係者の協力を得ながら、伝統あるマーチングをより本校らしい特色あるものに創作する。

○併設する幼稚園と連携を密にし、幼児教育の研修を深め、小学校教育に生かす。

○学校の校内の美化を計画的に推進し、保護者や地域住民より、美しい学校と称賛されるようにする。

2 学校運営の年度目標

【学力の向上】

- 児童の言語力や思考力・表現力の育成を図る。
- 児童の読書量を増やす。
- 校内研究教科である道徳科をはじめ、様々な教科において言語活動の充実を図り、指導方法の工夫・改善を行う。議論し合う道徳科の授業を通して、自分の考えを伝え合う力を育む。
- 全学年で英語活動モジュールタイムを実施する。

【道徳心・社会性の育成】

- 「学校生活のきまり」を守って生活できるように取り組む。すすんであいさつできる児童を育てる。
- 配慮を要する児童に対する校内外の研修に積極的に参加し、全職員が共通理解し実践する。
- 道徳教育の年間計画を作成し、指導方法の工夫・改善を行う。
- たてわり班活動を活発に行い、たてわり班長を中心にした活動の充実を図る。

【健康・体力の保持増進】

- 児童数の増加、狭い運動場にも対応できる体育科授業と体育的な取り組みを通して、すすんで体力作りに取り組む児童の割合をふやす。
- けがの予防に努め、前年度の実績よりけがの発生率を抑える。
- 健康に関する取り組みや指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、残さず食べようとする意識を高める。

【本校の特色と課題の克服】

- 学校の特色の一つとして、伝統あるマーチングを継続し、保護者・地域住民に披露する。
- 充実した小中連携の取り組みを工夫する。
- 校内の美化を計画的に推進し、美しい学校をつくる。

大阪市立堀川小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	4：目標を上回って達成した	3：目標どおりに達成した
	2：取り組んだが目標を達成できなかった	1：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】 ① 児童の言語力や思考力・表現力の育成を図る。 ② 児童の読書量を増やす。 ③ 校内研究教科である道徳科をはじめ、様々な教科において言語活動の充実を図り、指導方法の工夫・改善を行う。議論し合う道徳科の授業を通して、自分の考えを伝え合う力を育む。 ④ 全学年で英語活動モジュールタイムを実施する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【言語力と論理的思考力の育成】 各教科指導において、話し合い活動や説明活動を多く取り入れるとともに、自分の考えを記述して表現する活動を充実させる。 (マネジメント改革)	
指標 大阪市小学校学力経年調査の記述式設問において、正答率が大阪市平均を上回るようにする。	
取組内容②【読書力の育成】 読書通帳を活用し、児童の読む意欲を高める。図書館コーディネーターと協力して、読書クイズなどを行い、本に親しむ活動の機会を作る。 (カリキュラム改革)	
指標 「学校アンケート」において、読書が好き、どちらかといえば好きと答える児童の割合を80%以上にする。	
取組内容③【授業研究の充実】 全学年で計画的に授業研究を実施し、指導力の向上に取り組む。授業研究、公開授業を合わせて年間20回以上実施する。 (マネジメント改革)	
指標 「学校アンケート」において、友だちの前で自分の考えや意見を発表するのが好き、どちらかといえば好きと答える児童の割合を60%以上にする。	
取組内容④【伝え合う力の育成】 全学年で英語活動モジュールタイムを実施し、簡単な英語を使ってコミュニケーションをしようとする子どもを育む。 (カリキュラム改革・グローバル改革)	
指標 「学校アンケート」において、「外国語活動が楽しい、どちらかといえば楽しい」という児童の割合を全学年で70%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立堀川小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	4：目標を上回って達成した	3：目標どおりに達成した
	2：取り組んだが目標を達成できなかった	1：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 ① 「学校生活のきまり」を守って生活できるように取り組む。すすんであいさつできる児童を育てる。 ② 配慮を要する児童に対する校内外の研修に積極的に参加し、全職員が共通理解し実践する。 ③ 道徳教育の年間計画を作成し、指導方法の工夫・改善を行う。 ④ たてわり班活動を活発に行い、たてわり班長を中心にした活動の充実を図る。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【規範意識の育成】 「学校生活のきまり」を守っている児童の割合を上げる。 自分からすすんであいさつできるように指導する。 (マネジメント改革)	
指標 「学校生活のきまり」を「守っている・どちらかと言えば守っている」の割合を80%以上にする。 すすんであいさつができたという児童の割合を80%以上にする。	
取組内容②【人権教育の充実】 配慮を要する児童に対する研修会を実施し、共通理解の場をもち支援の方法を話し合う。 (マネジメント改革)	
指標 研修会や共通理解の場を月一回もち、具体的な支援の方法を話し合う。	
取組内容③【道徳教育の推進】 年間計画の見直しをすると共に、全学年で授業研究を年6回実施し、指導方法の改善をすすめる。 (マネジメント改革)	
指標 研修会が「道徳教育の指導に役立った」という割合を70%以上にする。	
取組内容④【仲間づくりの充実】 たてわり班長を中心として、たてわり班での異学年交流を深める。 (マネジメント改革)	
指標 「仲間とのふれあいが楽しかった」という児童の割合を70%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立堀川小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	4：目標を上回って達成した	3：目標どおりに達成した
	2：取り組んだが目標を達成できなかった	1：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ① 児童数の増加、狭い運動場にも対応できる体育科授業と体育的な取り組みを通して、すすんで体力作りに取り組む児童の割合をふやす。 ② けがの予防に努め、前年度の実績よりけがの発生率を抑える。 ③ 健康に関する取り組みや指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、残さず食べようとする意識を高める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体力向上】 なわとび運動の推進（進級表の活用）や体幹を鍛える運動（運動集会）などで、体力の向上をはかる。 (カリキュラム改革)	
指標 「すすんで体力づくりに取り組んでいる」児童の割合を70%以上にする。	
取組内容②【安全教育】 保健指導や保健だより、掲示物やテレビ朝会での啓発により、けがの予防に努める。 (マネジメント改革)	
指標 けがの発生率を前年度以下にする。	
取組内容③【健康な生活習慣】 健康週間での残食に関する調査で意識づけを行ったり、食に関する指導や給食だよりによる啓発、給食委員会による呼びかけなどで残食しないことの大切さを訴えたりする。 (マネジメント改革)	
指標 学期に1回全校の残食数を調べ、1学期より3学期の結果を向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立堀川小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	4：目標を上回って達成した	3：目標どおりに達成した
	2：取り組んだが目標を達成できなかった	1：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 本校の特色と課題の克服】 ① 学校の特色の一つとして、伝統あるマーチングを継続し、保護者・地域住民に披露する。 ② 充実した小中連携の取り組みを工夫する。 ③ 校内の美化を計画的に推進し、美しい学校をつくる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【地域連携の充実】 マーチングの取り組みについて、全職員・保護者・地域へ、練習等の進捗状況を発信し共通理解を図りながらより良いものをめざす。 (ガバナンス改革)	
指標 「マーチングに取り組んで良かったと思う」の項目について、児童・保護者・教職員とも「そう思う・どちらかといえばそう思う」が、80%以上になるようにする。	
取組内容②【小中連携】 事前の打ち合わせを行い、中学校入学に向けての見通しが持てるように工夫する。 (カリキュラム改革)	
指標 「中学校生活についての見通しが持てた」の項目について、対象児童の過半数が「そう思う」と答えられるようにする。	
取組内容③【環境整備】 普段から、校内を美しくする意識を児童・教職員ともに高め、計画的に環境整備を行う。 年2回全校集会時に、たてわり班で一斉清掃を行う。 (カリキュラム改革・ガバナンス改革)	
指標 「学校を美しくするために、清掃を頑張っている」という項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合が70%以上になるようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	